

## EIPS からの情報提供 Vol.71

### ○ (名古屋税関特集) 輸入単価推移表 <9月20日>

単価変動が顕著である次の品目について、2020年1月から2023年6月までの「数量」、「年間平均数量」、「単価」をグラフ化した推移表を作成しましたので公表いたします。

#### 【輸入品目】

●原粗油 ●液化天然ガス (LNG) ●石炭 ・とうもろこし

#### 【期間】

2020年1月～2023年6月(3年6か月)

詳細は、以下の URL をご覧ください。

[tokur0509.pdf \(customs.go.jp\)](#)

### ○ (大阪税関特集) ぶどうと柿の輸出 <9月20日>

近年農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組が強化されており、2022年の全国の果物の輸出金額は383億91百万円と過去最高となりました。近畿圏からの輸出金額も130億90百万円(全国比34.1%)と過去最高となりました。

近畿圏からは1年を通して様々な果物の輸出が盛んであり、今回はその中から秋の味覚「ぶどう」と「柿」の輸出について特集します。

詳細は以下の URL をご覧ください。

[tokushu\\_202309.pdf \(customs.go.jp\)](#)

### ○ (神戸税関特集) 鶏卵の輸出 <9月20日>

日本で初めて卵かけご飯や半熟卵を食べて、その美味しさに衝撃を受けた外国人観光客も少なからずいるようで、近年、海外では和食ブームや日本の食材ブームが広がっている中で、日本産鶏卵も人気が高まっている食材の一つのようです。

鶏卵は世界各国で生産され、消費されていますが、日本で浸透している鶏卵の生食は、世界においてはまれです。この「生で食べられる」ほど新鮮で、美味しく安全な日本産鶏卵への信頼感が、各種メディアや外国人観光客の口コミなどによって広く浸透し、海外へ向けて輸出される鶏卵も年々増加して、2022年は神戸港及び全国で数量・金額とも過去最高を記録しました。

昨今の新聞報道等においては、鶏卵の価格動向についてもたびたび話題が取り上げられ、ここ最近、いろいろな方面から注目が高まった鶏卵。

今回は、この鶏卵についての輸出動向や海外での人気の秘密などご紹介したいと思います。

詳細は以下の URL をご覧ください。

[2023\\_8keiran.pdf \(customs.go.jp\)](#)

## ○（門司税関特集）栗の輸入〈9月20日〉

秋を代表する味覚の一つである「栗」ですが、門司税関管内では、例年、9月から12月までの間、下関港を中心に韓国、中国から輸入されています。これらの栗は、主に日本国内で甘露煮に加工されるほか、栗まんじゅう、栗羊かん等の和菓子、モンブラン、マロングラッセ等の洋菓子や縁起物として正月用のおせち料理に欠かせない栗きんとんの材料として用いられています。

これからの季節に味わいたい「栗」の輸入について特集します。

詳細は以下の URL をご覧ください。

[202308kuri.pdf \(customs.go.jp\)](#)